

大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.4)

◎配管工事、電気・計装工事を実施

PCB廃棄物処理施設は、12月の段階で、施設の外観が全体の姿を現しつつあります。現在、外壁や屋根の取付を完了し、これから足場やクレーンを解体して、外周の工事を実施します。

施設内では、主要設備機器の据付を終え、現在、配管工事や電気・計装工事を行い、来年3月からの試運転に向けて、安全に工事を進めています。



11月23日時点の建設状況（写真左：東区画、右：西区画）

◎真空加熱分離装置の設置状況



真空加熱分離装置

大阪事業では、真空加熱分離装置4基を設置して、含浸性部材からPCBを回収し、処理します。具体的には、小型コンデンサやPCBが浸み込んだ紙、木及びこれらを含んだ部材（含浸性部材）などを、密閉・真空下で加熱する（約6kPa、約400℃）ことによりPCBを気化分離し、オイルスクラバー等で回収する装置です。

現在、真空加熱分離装置本体の据付は終わり、引き続き、装置に接続する配管工事、電気・計装工事を進めています。

◎大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会の開催

11月2日（水）午後2時から、此花会館大ホールにおいて第6回大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会（委員長 福永 勲大阪人間科学大学教授）が開催されました。

この委員会は、大阪市が学識経験者及び市民代表の委員を委嘱して実施しているものであり、当日は、JESCOから、「情報公開施設について」「収集運搬体制について」「処理施設の安全設計について」等の説明を行いました。

委員の先生方からは、貴重なご意見をいただき、今後のPCB廃棄物処理事業の安全性の確保等について反映していくこととしています。



監視委員会風景

◎ PCB廃棄物の収集運搬業許可等に係る説明会の開催

12月1日(木)午後2時から、大阪市中央公会堂大ホールにおいて、近畿ブロック産業廃棄物処理対策推進協議会（近畿2府4県11政令市）及びJESCOの共催で、PCB廃棄物の搬入を検討している収集運搬業者等を対象に説明会を開催しました。（参加人員370名）

当日は、行政から「PCB廃棄物の収集運搬業許可等について」、JESCOから「大阪PCB廃棄物処理施設に係る受入基準について」を説明いたしました。特に受入基準は処理施設にPCB廃棄物を搬入しようとする際に遵守いただかなければならない基準であり、ステンレス製の漏れ防止型金属容器の使用、GPSシステムの設置、3億円を下限とする保険の加入等を義務づけています。

（なお、大阪PCB廃棄物処理施設への受入基準の詳細は、JESCOのホームページに掲載しております。）



説明会風景

◎PCBモニタリング分析計（西区画）の工場立会検査



工場立会検査の様子

処理工程からのPCBを含む排気及びPCB取り扱い区域の管理レベル3や2等の換気設備の排気は、PCBモニタリング分析計でPCB排出濃度を監視しながら管理します。その分析計の工場立会検査を水戸市で実施しました。



周辺歩道等の4S活動の様子

◎一斉清掃の実施

毎週金曜日の午後1時から15分間作業員全員で一斉清掃を行ない、施設内、仮設倉庫及び周辺の歩道等の4S(整理・整頓・清掃・清潔)に努めています。

施工者からの一言

11月から12月にかけて工事は山場となり、作業量はピークを迎えています。それに伴い、11月下旬から1日あたりの作業員は、約1千名となっています。これまでの延労働人員は約12万人、延労働時間は約100万時間に達しています。多くの作業を並行して進めるため、作業間の調整を十分に行ない、安全かつ確実に工事を行なっています。



発注者

日本環境安全事業株式会社

(連絡先) 大阪事業所 06-6575-5575

施工者

三井造船-大阪事業異工種建設工事共同企業体

(連絡先) 三井造船(株)大阪PCB工事事務所

06-6462-5095